

男女共同参画ニュースレター

男女共同参画推進委員会

研修会の実施について

男女共同参画推進委員会では、2014年2月18日（火）に研修会を実施しました。

テーマ：組織活性化のワーク・ライフ・バランスセミナー

～すべての人が生き活きと働ける組織であるために～

講師：公益財団法人21世紀職業財団客員講師 土井文子氏

会場：京都教育大学 A棟2階 A1講義室

多様な生き方、働き方が選択でき、個々の能力を十分に発揮できる組織であるためには、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の考え方がとても重要です。研修会では、ワーク・ライフ・バランスの考え方と具体的な方法について、土井氏にお話をいただきました。今回はグループワークも取り入れていただきました。自分の「ワーク」と「ライフ」のバランスの現状と理想を考えた上で、グループで話し合い、互いの相違点を交流する機会となりました。組織としてのワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、タイムマネジメント（労働時間の効率化）を進めるための方法（会議設定の仕方など）についても示唆をいただきました。今後活かしていきたいと思えます。



内閣府のキャンペーンへの登録について



上記の研修会を開催するにあたり、内閣府 男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室「カエル！ジャパン」キャンペーンへの参加登録を行いました。

内閣府では、仕事と生活の調和の実現した社会に向けて、「ひとつ『働き方』を変えてみよう！」というキャッチフレーズのもとに、さまざまな団体などの取り組みを支援・推進しています。

京都教育大学の男女共同参画推進委員会も、このキャンペーンに参加登録することにより、さらに活動を進めていくことができると考えています。

なお、内閣府の「カエル！ジャパン」キャンペーンでは、「働き方を変えることでプライベートをたのしむ時間をつくり出そう」という提案もされています。詳細は、以下のホームページに掲載されています。http://www.cao.go.jp/wlb/change_jpn/campaign.html

公開講演会の実施について

今年度は、アクションプランにもとづき、地域連携・広報委員会と協力して公開講演会を実施しました。年間テーマは、「男も女も……一人ひとりが輝く生と性」としました。

■第1回：「子どもの育ちと女（男）らしさ～未来の多様な幸せのために～」

講師 関口久志氏（本学教育支援センター准教授）

日時 2013年4月13日

未来の多様な幸せのために求められる視点について、子育てや社会のあり方との関連を踏まえてお話しいただきました。

■第2回：「性的少数者、HIV感染者支援からみる『自分らしく生きることのできる社会』」

講師 繁内幸治氏（性感染症予防啓発ボランティア BASE KOBE 代表）

日時 2013年7月26日

格差の広がり指摘されるなか、自分らしく生きることがますます困難な状況になっています。性的少数者、HIV陽性者支援の現場から、自分らしく生きることのできる社会についてお話しいただきました。

■第3回：「ジェンダー平等は子どもの発達可能性を拓ける鍵」

講師 朴木佳緒留氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）

日時 2013年11月9日

就業状況や賃金の実態に加え、日常生活のなかでジェンダーが再生産されていることなどについて、ジェンダーという言葉の定義もふまえてお話しいただきました。

子育て支援施設開放について

京都教育大学 藤森キャンパスでは、子育て支援の活動として構内を開放しています。また、以下の施設を利用することができますので、お気軽にご利用ください。

- ・大学内2カ所のおむつ換え設備付きトイレ
- ・授乳室（大学会館内）
- ・附属図書館（児童書・幼児教育関連図書等あります）
- ・生協



学内マップを正門門衛所にて配布しています。また、下記の「おさんぽマップ」（季節ごと）も配布しています。ぜひご利用ください。

子育て支援施設開放については、学内のホームページ（下記）でも紹介する予定です。

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/>

京都教育大学 男女共同参画推進委員会
（担当：総務・企画課）

